

「被災者の要望把握を」

学生ボランティア報告会

西日本豪雨

西日本豪雨で被災した倉敷、岡山市などでボランティア活動に取り組んできた県内の大学生による報告会(大学コンソーシアム岡山主催)が17日、岡山市北区津島中の岡山大学津島キャンパスで開かれた。

岡山大、県立大、川崎医療福祉大など11大学の17個人・グループが3会場に分かれて発表。写真や映像を示しながら、炊き出し、災害ごみの分別、被災家屋の片付けなどの様子を紹介した。倉敷市の避難所で野菜入りの雑炊などを提



被災地でのボランティア活動について発表する学生

供した、くらしき作陽大の学生は「一方的に決めるのではなく、相手の求めることを把握して活動する必要がある」と強調。岡山市東区で高齢者宅の片付けや溝掃除を手伝った山陽学園大の学生は「感謝の言葉を掛けよつな機会は貴重だ」と話した。

と話した。

(小若菜美)